

# 2022年度 第3四半期決算

株式会社フジクラ

2023年2月9日

# 目次

1. 2022年度第3四半期決算概要
2. 通期予想について
3. 株主還元

# 1. 2022年度第3四半期決算概要

# 2022年度第3四半期決算のポイント

- 足下の為替は下期見直し時の水準となるも、3Q業績に対しては押し上げ要因
- エネルギー事業部門では、北米での事業が引き続き堅調に推移
- 情報通信事業部門では、データセンタ向け市場における景気減速の影響が顕在化し始めているものの、欧州インフラ向け光ケーブル事業は堅調
- エレクトロニクス事業部門では、FPC事業における上海ロックダウンの影響及び採算重視の受注戦略により減収も、品種構成良化、生産性改善などにより増益
- 自動車事業部門では輸送費高騰の影響に加え、北米での新車種立上げに苦戦し費用が増加したこと等により赤字幅が拡大

3Qまで累計では、売上高は24%の増収、営業利益は102%の増益となり、  
売上高及び営業利益、経常利益、当期純利益は過去最高となった

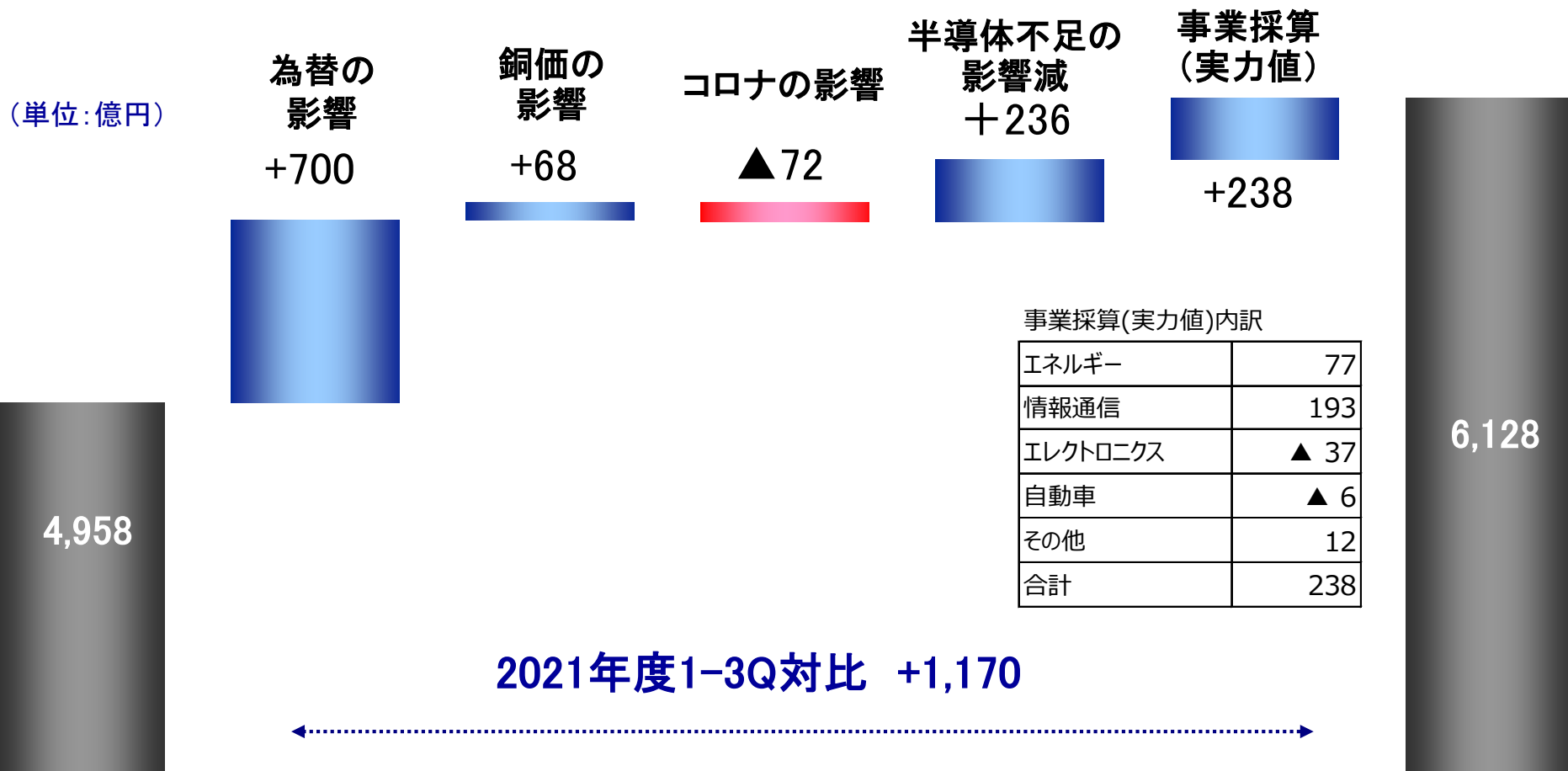
# 2022年度第3四半期決算概要及び通期予想

(単位:億円)

	2021年度		2022年度		1-3Q実績 増減	
	1-3Q	年度	1-3Q	年度	前年比較	増減%
	実績	実績	実績	予想		
売上高	4,958	6,703	6,128	7,900	1,170	124%
営業利益	279	383	565	685	286	202%
営業利益率 (%)	5.6	5.7	9.2	8.7	3.6	—
持分法投資損益	18	21	21	32	2	112%
経常利益	255	341	559	690	303	219%
親会社株主に帰属する 当期純利益	262	391	465	355	203	178%
1株当たり 当期純利益(円)	94.97	141.85	168.61	128.74	73.64	—
1株当たり配当(円)	0.0	10.0	13.0	26.0	13.0	—
自己資本利益率(ROE)(%)	—	20.4	—	14.4	—	—
為替換算レート(USD/JPY)	111.14	112.40	136.52	132.00	25.38	—
銅ベース(千円/トン)	1,111	1,130	1,200	1,150	89	—

# 2022年度第3四半期 売上高の増減(前年度比) - 要因別

## 売上高



21年度  
1-3Q実績

為替の影響に加え、半導体不足の影響減や情報通信事業部門におけるデータセンタ、FTTx向け需要が引き続き高いこともあり増収

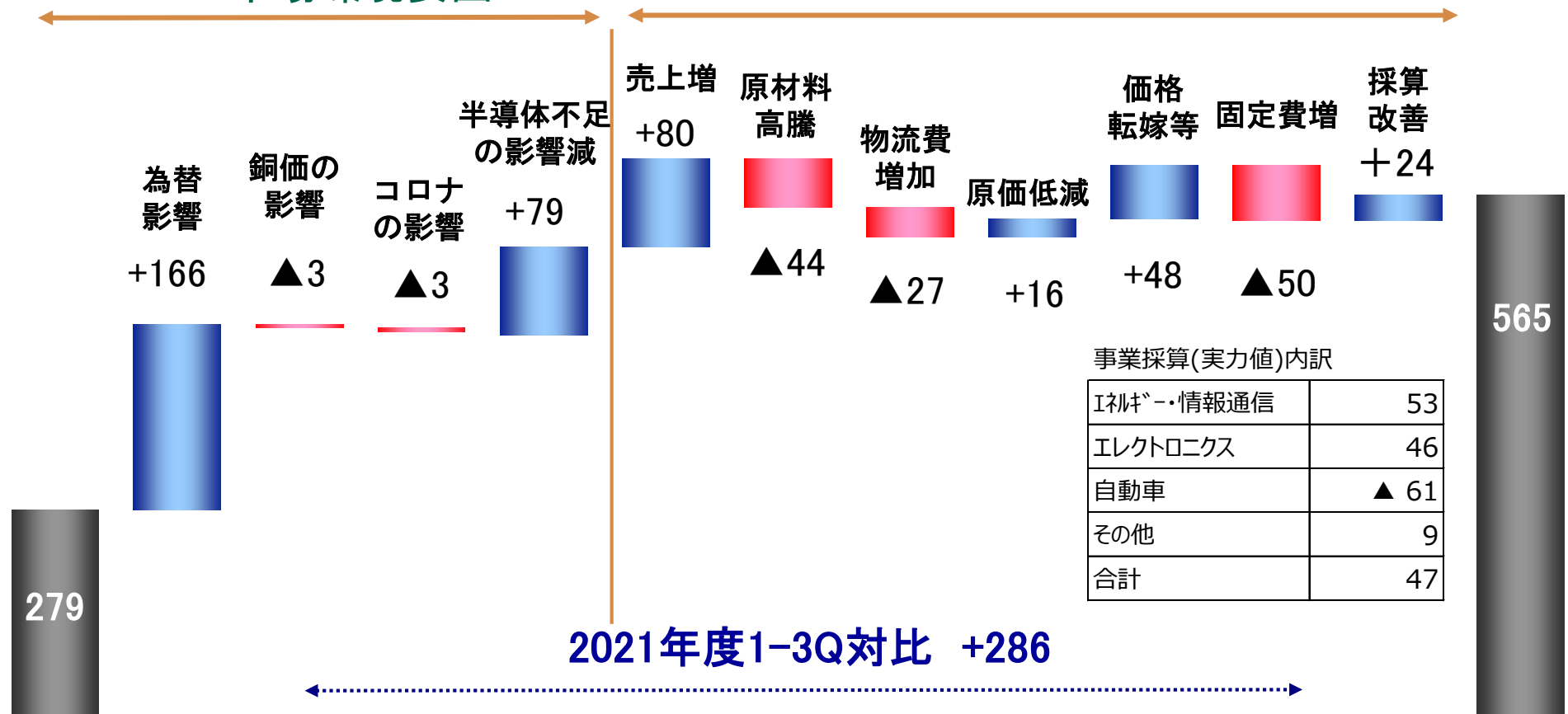
22年度  
1-3Q実績

# 2022年度第3四半期 営業利益の増減(前年度比) -要因別

## 営業利益

(単位:億円) 市場環境要因 +239

事業採算(実力値)要因 +47



事業採算(実力値)内訳

ICT・情報通信	53
エレクトロニクス	46
自動車	▲61
その他	9
合計	47

21年度  
1-3Q実績

為替の影響に加え、半導体不足の影響減や情報通信事業が堅調に推移したこと、エレクトロニクス事業における生産性の改善等もあり増益

22年度  
1-3Q実績

# 2022年度第3四半期 特別損益及び税金項目

## 特別損益

(単位:億円)

	2021年度		2022年度
	1-3Q	年度	1-3Q
営業利益	279	383	565
持分法投資損益	18	21	21
経常利益	255	341	559
特別利益	99	223	48
特別損失	10	47	25
税引前当期純利益	345	517	582
税金費用	75	115	104
非支配株主に帰属する 当期純利益	8	10	13
親会社株主に帰属する 当期純利益	262	391	465

2022年度1-3Qのトピック  
関係会社株式売却益:42億円等



# B/S 主要項目(1)

(単位:億円)

	22年3月末	22年12月末	増減
〈資産〉	6,115	6,740	625
流動資産	3,691	4,179	487
現金及び預金	910	894	▲ 16
受取手形、 売掛金及び契約資産	1,449	1,618	169
棚卸資産	1,126	1,421	295
固定資産	2,424	2,562	138
有形固定資産	1,741	1,817	76
無形固定資産	154	167	13
小計	1,895	1,984	88
投資その他の資産	528	578	49

エネルギー・情報通信事業部門における需要増及びエレクトロニクス事業部門における季節的要因により増加

エネルギー・情報通信事業部門における需要増、自動車事業部門における新車種量産などによる増

リース資産 138億円  
(米国会計基準ASC842適用)

## B/S 主要項目(2)

(単位:億円)

	22年3月末	22年12月末	増減
負債純資産合計	6,115	6,740	625
(内数 自己株式)	(▲106)	(▲105)	1
〈負債〉	3,679	3,767	88
支払手形及び買掛金	718	801	83
有利子負債(借入金・社債)	2,115	2,081	▲34
その他負債	845	885	39
〈純資産〉	2,437	2,974	537
株主資本	1,971	2,380	409
(内数 自己株式)	(▲106)	(▲105)	1
その他の包括利益累計額	234	361	127
非支配株主持分	232	233	1
自己資本比率(%)	36.1	40.7	4.6

NET D/E Ratio  
35:65 ⇒ 30:70  
Net Debt 1,204 ⇒ 1,187 ▲18

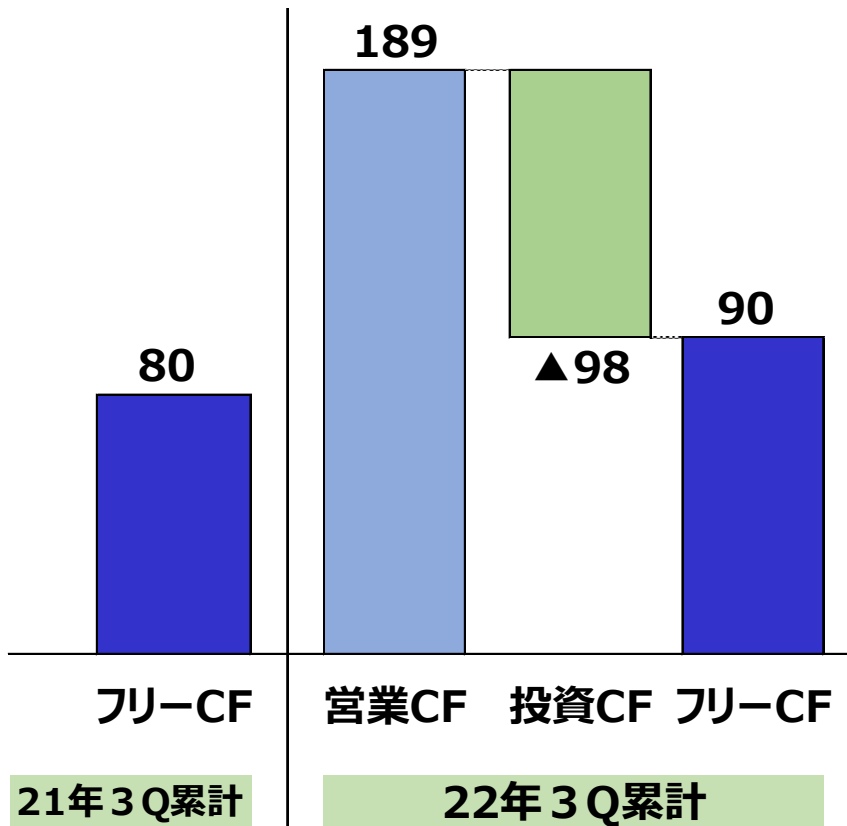
主に米国会計基準ASC842適用  
によるリース債務の増  
(+139億円)

為替換算調整勘定  
+90億円

# フリーキャッシュフロー / Net Debt

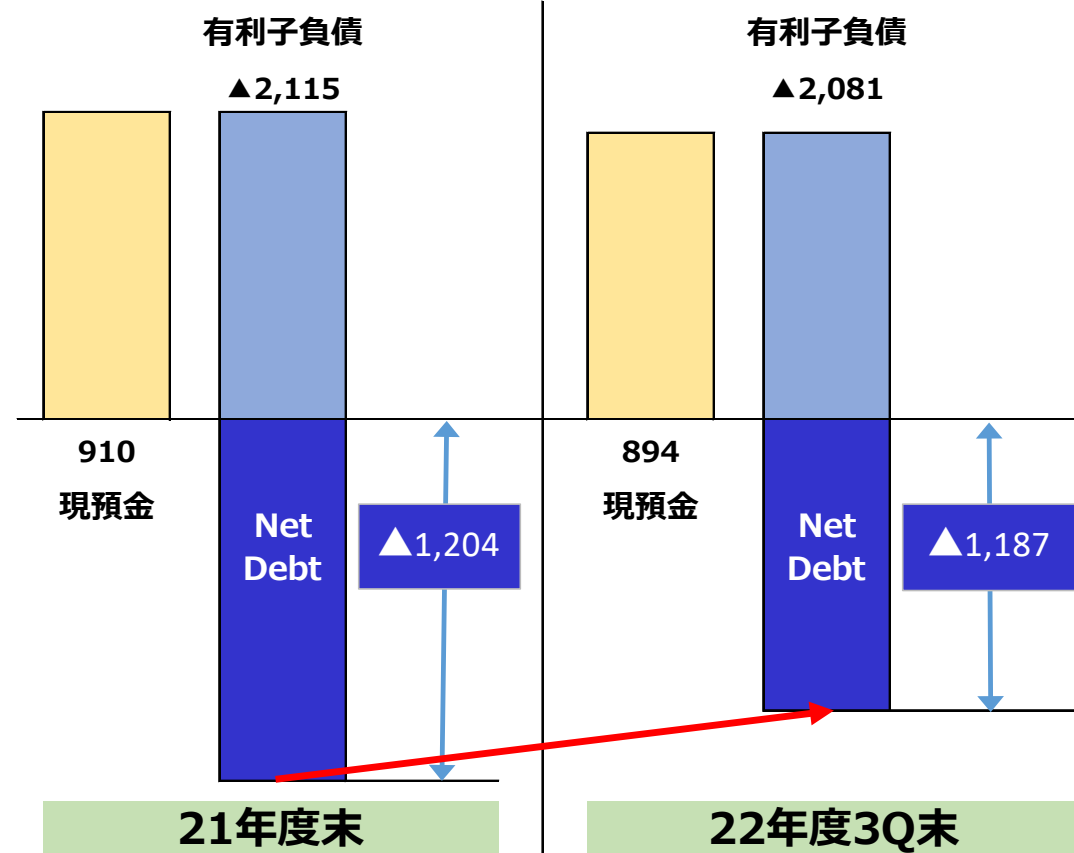
## フリーキャッシュフロー

(億円)



## 有利子負債 / Net Debt

(億円)



営業CF 純利益増により前年より改善 CCC短縮を進めさらなる改善を図る  
 Net Debt 期首より改善 引き続き財務体質改善を推進する

# 2022年度第3四半期 セグメント別業績 - 前年同期比

(単位:億円)

セグメント	売上高				営業利益及び営業利益率			
	21年度	22年度	増減	増減%	21年度	22年度	増減	増減%
	1-3Q	1-3Q			1-3Q	1-3Q		
エネルギー・ 情報通信事業部門	2,586	3,286	700	127%	175 6.8%	321 9.8%	146 3.0%	183%
エレクトロニクス 事業部門	1,362	1,563	201	115%	110 8.1%	248 15.9%	138 7.8%	225%
自動車 事業部門	887	1,138	250	128%	▲ 42 ▲4.7%	▲ 50 ▲4.4%	▲ 9 0.3%	—
電子電装・コネクタ 事業部門	2,249	2,700	452	120%	68 3.0%	198 7.3%	130 4.3%	290%
不動産 事業部門	82	82	0	100%	38 47.1%	38 47.1%	0 0.0%	100%
その他	42	60	18	141%	▲2	8	10	—
合計	4,958	6,128	1,170	124%	279 5.6%	565 9.2%	286 3.6%	202%

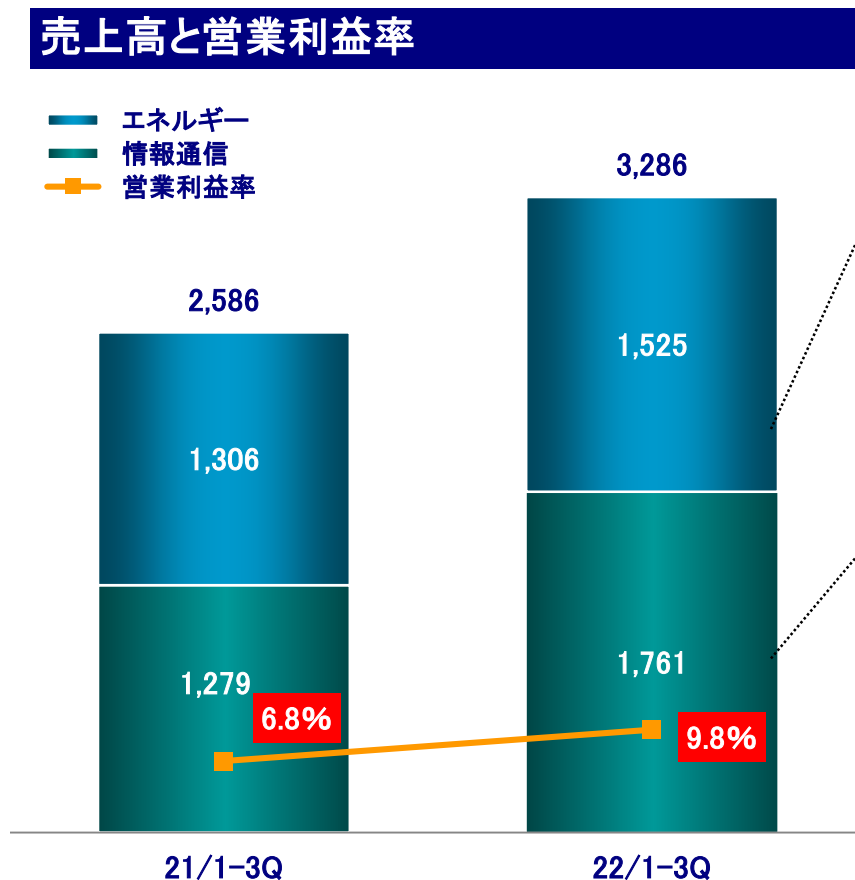
# エネルギー・情報通信事業部門

- 為替影響や、データセンタ、F T T xに対応した需要が継続して高いこと等により前年同期比増収増益  
ヘリウム不足についても生産対応などにより影響を低減した

(単位: 億円)

## 売上高と営業利益率

- エネルギー
- 情報通信
- 営業利益率



## エネルギー

- 為替の影響に加え北米での事業が好調なこと  
や銅価の上昇により増収

## 情報通信

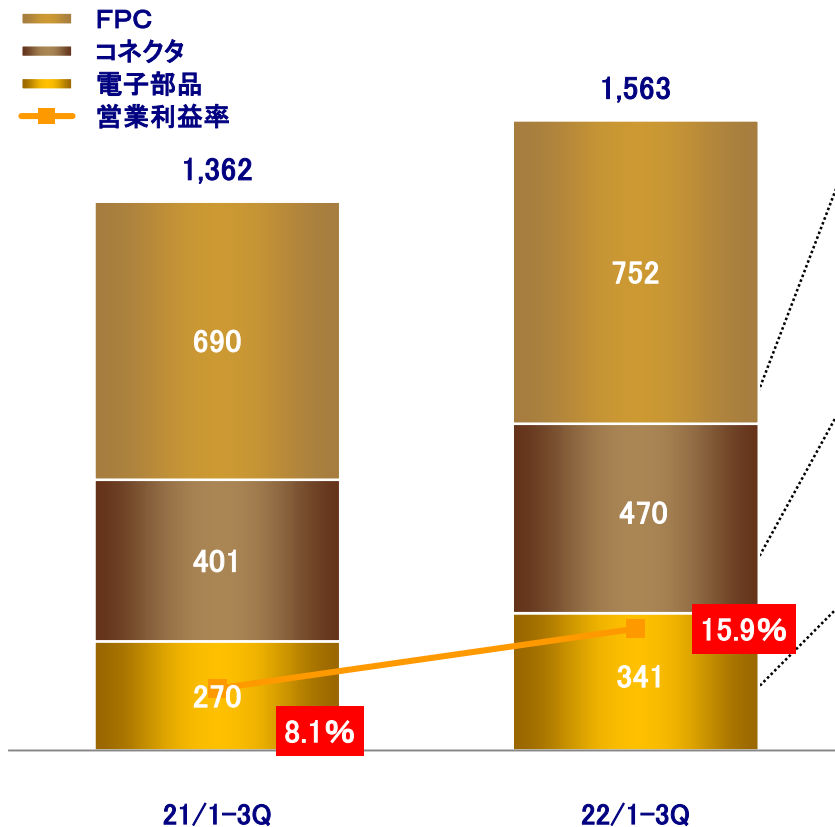
- 為替の影響や、データセンタ、F T T xに対応  
した需要増などにより増収
- ヘリウム不足についても生産対応などにより  
影響を低減

# エレクトロニクス事業部門

- 上海ロックダウンの影響及び、採算重視の受注戦略等による減収要因はあるものの、生産性の改善、品種構成の良化及び為替影響等により増収増益となった

(単位: 億円)

## 売上高と営業利益率



**FPC**

- 上海ロックダウン、採算重視の受注戦略等による減収要因はあるも、主要顧客向けが好調に加え為替影響により増収

**コネクタ**

- スマートフォン向け及び産業機械向けともに好調に推移し増収

**電子部品**

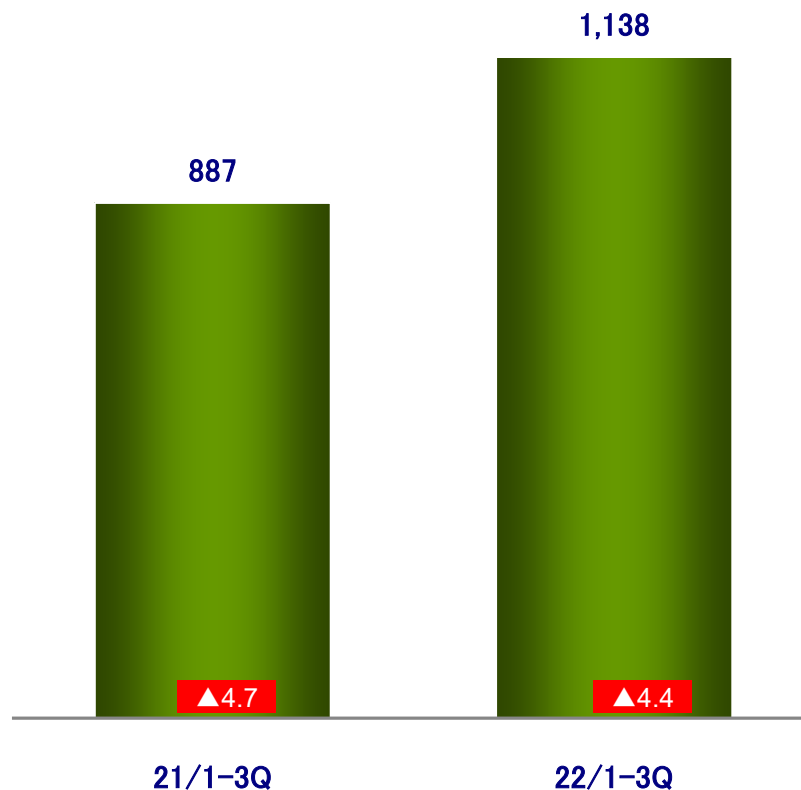
- 需要が堅調に推移したこと及び為替の影響により増収

# 自動車事業部門

- 半導体不足の影響が低減したことや為替影響もあり増収となるも、輸送費高騰の影響に加え、北米での新車種立上げに苦戦し、立上げに係る費用が増加したこと等により赤字幅が拡大

(単位:億円)

## 売上高と営業利益率



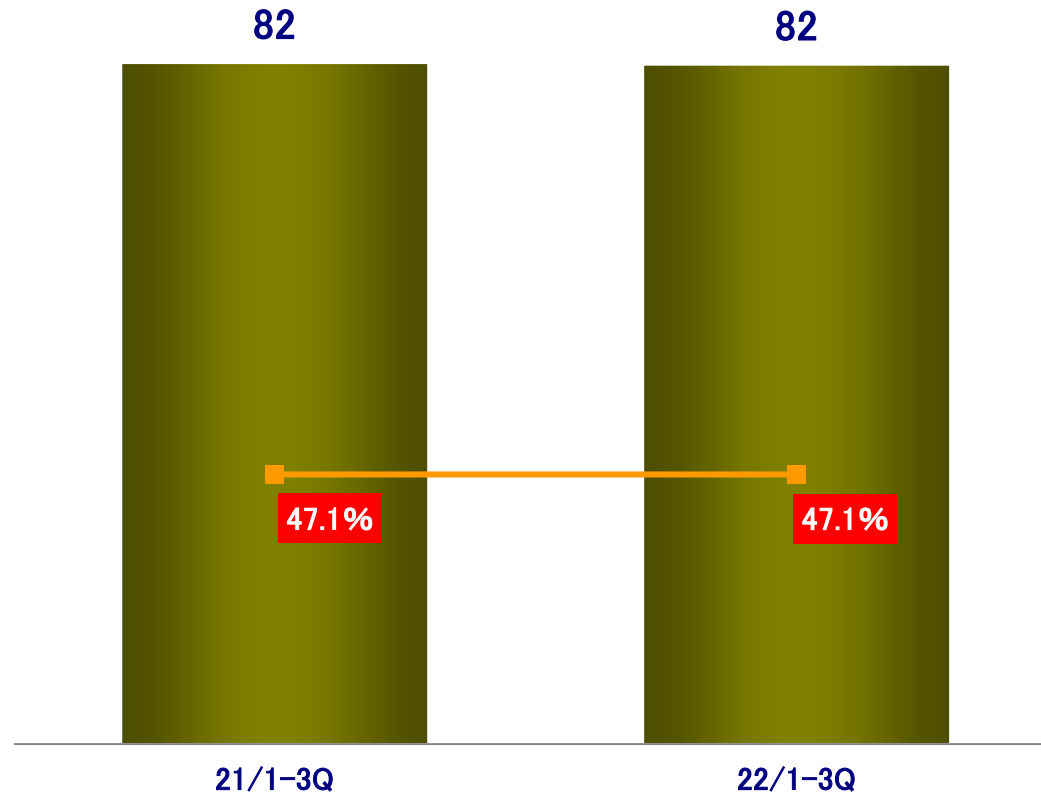
# 不動産事業部門

## ■ 引き続き堅調に推移

(単位:億円)

### 売上高と営業利益率

—■— 営業利益率





## 2. 通期業績予想について

# 2022年度通期業績予想のポイント

連結業績については、概ね前回公表（2022年11月9日）の通期予想の通り推移しており今回の修正はありません

尚、セグメント別では、自動車事業部門の赤字幅が拡大するも、エレクトロニクス事業部門を中心に挽回し、全体では前回公表値を達成する見込み

**売上高及び営業利益、経常利益は、過去最高を目指す**

# 22年度通期セグメント別業績予想 – 公表値比

(単位:億円)

セグメント	売上高			営業利益及び営業利益率		
	2022年度 1-3Q実績	2022年度 修正公表値 2022.11.09	進捗率	2022年度 修正公表値 2022.11.09	2022年度 予想 2023.02.09	増減
	エネルギー・ 情報通信事業部門	3,286	4,281	77%	432 10.1%	439 10.3%
エレクトロニクス 事業部門	1,563	1,940	81%	235 12.1%	253 13.2%	18 1.1%
自動車 事業部門	1,138	1,489	76%	▲ 32 ▲ 2.1%	▲ 67 ▲ 4.3%	▲ 35 ▲ 2.2%
電子電装・コネクタ 事業部門	2,700	3,430	79%	203 5.9%	186 5.4%	▲ 16 ▲ 0.5%
不動産 事業部門	82	107	76%	47 43.6%	51 47.1%	4 3.4%
その他	60	82	73%	3	9	6
合計	6,128	7,900	78%	685 8.7%	685 8.7%	0 0.0%

## ■ 22年度:株主還元について

2022年11月9日に発表の通り、中間配当 13.0円/株を実施致しました  
期末配当13.0円/株については変更はありません

22年度配当 26.0円/株(中間13.0円/株、期末13.0円/株、配当総額72億円)

21年度 10.0円/株(中間 0.0円/株、期末10.0円/株、配当総額28億円)

# 補足資料

# 事業セグメント別 売上高 推移

単位: 億円

	2021年度							2022年度							2022年度 予想公表値 (11.9)
	1Q	2Q	3Q	4Q	上期	下期	年度	1Q実績	2Q実績	3Q実績	4Q予想	上期実績	下期予想	年度予想	年度予想
エネルギー	421	433	452	485	855	937	1,792	471	513	540	459	985	999	1,983	1,942
情報通信	409	428	442	466	837	907	1,745	538	637	586	509	1,175	1,095	2,271	2,339
エネルギー・情報通信事業部門	831	861	894	951	1,692	1,844	3,536	1,009	1,151	1,126	968	2,160	2,094	4,254	4,281
FPC	235	237	218	213	472	431	903	165	279	308	149	444	458	902	894
コネクタ	111	160	130	129	271	259	530	120	204	146	111	323	258	581	619
電子部品	86	89	95	82	175	177	352	106	114	121	89	220	209	429	427
エレクトロニクス事業部門	433	486	443	423	918	867	1,785	390	597	575	349	988	924	1,912	1,940
自動車事業部門	323	265	299	326	588	625	1,213	361	385	391	398	746	789	1,535	1,489
電子電装・コネクタ事業部門	756	751	742	749	1,506	1,492	2,998	752	982	966	747	1,734	1,714	3,447	3,430
不動産事業部門	27	27	27	27	55	54	109	27	28	27	26	55	53	108	107
その他	13	15	14	18	28	32	60	21	21	18	31	42	49	91	82
合計	1,627	1,654	1,677	1,745	3,281	3,423	6,703	1,809	2,182	2,137	1,772	3,991	3,909	7,900	7,900

# 事業セグメント別 営業利益 推移

単位:億円

	2021年度							2022年度							2022年度 予想公表値 (11.9)
	1Q	2Q	3Q	4Q	上期	下期	年度	1Q実績	2Q実績	3Q実績	4Q予想	上期実績	下期予想	年度予想	年度予想
エネルギー・情報通信事業部門	64	46	65	76	110	142	252	70	133	118	118	203	236	439	432
エレクトロニクス事業部門	21	48	42	28	68	69	138	41	109	99	5	149	104	253	235
自動車事業部門	△ 2	△ 18	△ 22	△ 14	△ 19	△ 36	△ 56	△ 13	△ 18	△ 20	△ 16	△ 30	△ 36	△ 67	△ 32
電子電装・コネクタ事業部門	19	30	19	14	49	33	82	28	91	79	△ 12	119	68	186	203
不動産事業部門	14	13	11	13	27	24	51	14	13	12	12	27	24	51	47
その他	△ 1	0	△ 2	0	△ 1	△ 2	△ 2	1	3	3	1	4	4	9	3
合計	97	89	94	103	186	197	383	113	240	213	119	353	332	685	685



注記:本資料は22年度におけるフジクラの経営方針(意思)をまとめています  
22年度の売上・利益等については、直近状況を織り込んだ市場判断、投入に関するフジクラの意思を定量化していますが、  
将来時点で事業環境の変化等により変わることがあります